

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



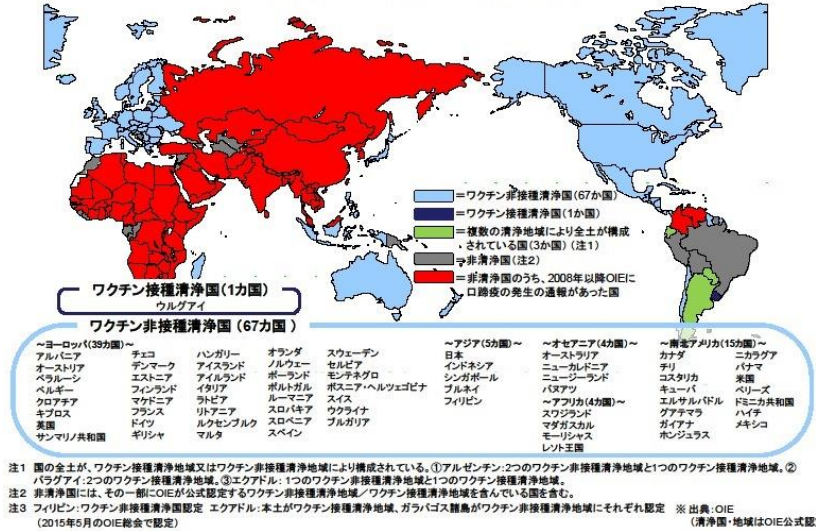
口蹄疫の防疫対策の徹底について

世界における口蹄疫の発生状況

2015年5月29日現在

夏休み期間中は、人や物の動きがいっそう激しくなり、日本への家畜伝染性疾患の病原体が侵入するリスクが高くなります。

以下の事項に注意し、口蹄疫を含めた病原体の農場への侵入防止を徹底して下さい。



1. 海外渡航については、可能な限り自粛をお願いします
2. 飼養衛生管理基準の再確認をお願いします
農場入口での車両、長靴の消毒等、飼養衛生管理基準の遵守項目を再度確認して下さい。
3. 衛生管理区域への病原体の持込み防止の再徹底をお願いします
衛生管理区域に必要な無い車や人を立ち入らせず、また、物を持ち込ませないようにして下さい。やむを得ない場合は洗浄、消毒その他必要な措置を講じてください。
4. 早期発見、早期通報の徹底をお願いします

毎月20日は家畜防疫の日

毎月20日は飼養衛生管理基準の自己チェックおよび農場消毒を行う日です。口蹄疫や鳥インフルエンザ、PED等の家畜伝染性疾患の侵入を防ぎ発生を予防するためには、地域一帯の衛生水準を上げる事が重要です。

農場を守るため、**20日の飼養衛生管理の自己チェックと消毒を習慣化**させましょう！

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。

下記アドレスもしくはQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>



豚流行性下痢防疫対策の再点検について

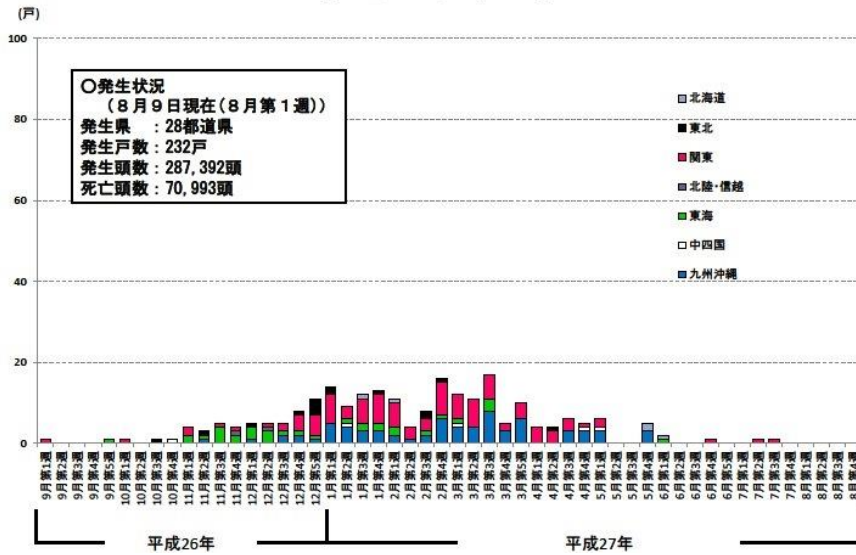
豚流行性下痢（PED）は、平成25年10月以降、全国的に発生が確認されています。

昨年の9月以降の発生状況を見ると、28都道府県232農場で発生が確認され、未だに沈静化していない農場が65農場（うち九州内17農場）、県内では、13農場の発生（最終発生4月2日）、沈静化していない農場が1農場あります。

また、昨年は、10月頃から新たな発生が認められており、今後とも予断を許さない状況が続くと考えられます。

再度農場の防疫対策を再点検していただき、侵入防止の徹底をお願いします。

豚流行性下痢の発生件数の推移(週毎・ブロック別)
【平成26年9月～】



近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
高病原性 鳥インフルエンザ	韓国	平成26年9月26日 ～平成27年6月10日	家きん	H5N8
		6月19日～6月25日	鶏、地鶏、がちょう	H5N2
		6月20日	地鶏	H5N8
	台湾	6月28日～7月2日	地鶏、七面鳥、がちょう	H5N2
		7月2日～7月8日	あひる、地鶏	H5N2
アフリカ豚コレラ	ロシア	7月13日～7月14日	あひる、地鶏	H5N2
		6月24日～6月25日	豚、野生いのしし	—
		6月28日～7月4日	豚	—
		7月1日～7月7日	豚、野生いのしし	—
		7月10日～7月14日	豚、野生いのしし	—

8月3日現在